

ルールの Q&A

1、個人 DA リバウンドでの受け(高い投げからの受けとリバウンド)についてフープにおいて腕での実施は可能ですか？

フープとボールでの高い投げからの腕を使つてのリバウンドは無効です。

2、ルールブック(P183)の English: fowarding(ルールブックの訳の「通過」とはどのような実施を指していますか？

手具の投げを伴わずパートナーに手具を渡すことを意味しています。
従って日本語訳の「通過」は誤解を招く訳になっていたことをお詫びします。
パートナーに手具を送る、という意味であると解釈してください。

3、フェッテピボットについて、パッセの形のフェッテピボットは、最初の回転に入る際、デュバン(水平)の形を見せてフェッテピボットに入った場合、これは2つの形を伴うフェッテピボットとしてノーカウントになりますか？

パッセの形のフェッテピボットは伸脚で横の水平の形を通過して回転に入っても、直接パッセの形で回転に入っても、どちらも有効です。2つの形を伴っているということにはなりません。最後の回転も伸脚で横(水平)の形を見せても、パッセの形で終了しても大丈夫です。但し、横に伸脚での回転から入り360度近くまで入った回転の場合には、2つの形を伴うように見えるので、注意してください。

また、パッセの形の膝の位置も横で見せること。内側(前側)に入る場合にも誤差が発生し、20度を越えた場合ノーカウントになります。

そして、必ず90度の水平位置をキープするようにしてください。20度を越える誤差でノーカウントになります。

4、個人 DA ボールのバウンドでについて、パンシェバランスの際に膝の後ろでボールを突いた場合、これは視野外になりますか？腕の大部分が視野外に位置してボールを突いていない場合は、視野外位置はノーカウントになりますか？

はい、視野外位置に腕の大部分が無い場合、視野外はノーカウントです。視野外とDBしか基準がない場合は、DA はノーカウントです。例えば、パンシェバランスの支持脚より後ろ側に手首または肘しか出ていない場合、視野外にはなりません。多くの選手の腕はそれほど長くはないので、このような状況で腕を視野外位置にすることは大変難しいと判断してください。しかし、もともと不可能ということではなく、身長が高く、

腕が長い選手には、このような実施ができる可能性があります。

5, 複数投げと複数受けについて、主要動作の選手以外の選手が手具の空中下でプレアクロバット要素を実施した場合、プレアクロバット要素は記録されますか？それとも振付の一部として記録する必要はありませんか？

記録する必要はありません。振付の一部として評価し、他の部分で繰り返すことが可能です。また、定義を満たしていれば複数投げ、複数受けともにカウントします。

6, CR について、主要動作以外の選手がプレアクロバット要素を実施した場合、プレアクロバット要素は記録されますか？それとも振付の一部として記録する必要はありますか？

記録する必要はありません。振付の一部として評価し、他の部分で繰り返すことが可能です。また、定義を満たしていればCRはカウントします。

7, 団体の CR における通過の基準について、2名の選手は、1本のリボンが床と接触した状態で、もう片方のリボンは空中に張って身体とリボンとで閉じる状態を作った場合、これは可能ですか？

はい、可能です。リボンが床に置かれているかどうかは問題ではありません。手具と身体とで閉じられた造形をつくることが大事です。